

第1号様式（第1条関係）

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

令和5年 4月 1日

東京都知事 殿

申請者 氏名 東京 太郎

下記のとおり農地を転用したいので農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

記

1 申請者の住所等	住所 東京 都道 郡 町 八丈島八丈市 村 ○○番地 府県 市 村								
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地目		面積	耕作者の氏名	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別		
	八丈郡 町 市 村	△△番	畑	畑	300 m <sup>2</sup>	東京 太郎			
計		300m <sup>2</sup> (田 m <sup>2</sup> , 畑 300m <sup>2</sup> )							
3 転用計画	(1) 転用事由の詳細	用途 住宅用地	事由の詳細 これまで借家だったが子ども3人で家が狭くなり、家を建てたいが所有している土地は農地しかないため、この農地に住宅を建築したい。						
	(2) 事業の操業期間又は施設の利用期間	令和5年 5月 許可 日から 永 年間							
	(3) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	第1期 (着工年月日から年月日まで)			第2期	合計		
			名称	棟数	建築面積	所要面積	棟数	建築面積	所要面積
		土地造成				300m <sup>2</sup>			300m <sup>2</sup>
建築物		木造平屋	1	150m <sup>2</sup>		1	150m <sup>2</sup>		
小計		1	150m <sup>2</sup>	300		1	150m <sup>2</sup>		
工作物									
小計									
計		1	150	300m <sup>2</sup>		1	150	300m <sup>2</sup>	
4 資金調達についての計画	建築関係費1,500万を自己資金500万、銀行融資1,000万にて賄う。								
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要	農地との境界にはコンクリートで擁壁を作り、土砂の流出等ないようにする。								
6 その他参考となるべき事項									

(記載要領)

- 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、それぞれ記載してください。
- 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法（昭和43年法律第100号）による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときはその旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。